令和８年第１０回金ケ崎町教育委員会定例会
会　　議　　録

１　開会、閉会等に関する事項

（１）開会　　令和８年９月２５日（金）午前１０時

（２）閉会　　同　　午前１１時

（３）場所　　庁議室

２　教育長及び出席委員の氏名（５名）

職名	氏　名
教育長	千葉　和仁
教育長職務代理者	高橋　玲子
教育委員	八重柏　知史
教育委員	小野　タマ子
教育委員	鈴木　雅司

３　説明等のため出席した職員（５名）

所属・職名	氏　名
教育委員会　参事兼教育次長	千田　美和
中央生涯教育センター　所長	及川　勝博
教育委員会事務局　教育次長補佐	渡邉　久美子
教育委員会事務局　教育次長補佐	松本　浩和
教育委員会事務局　係長	榊　由佳里

４　教育長等の報告の要旨

別紙資料のとおり教育長から報告

５　議決事項議題及び議事の大要

（１）報告第１号　　関係規則等の公布について

事務局から、９月に公布された規則改正等４件について説明した。

質疑等

鈴木委員）保育料無償化ということで、自分の子どもが小さいときは毎月の保育料が大変だった。今は、３歳以上無償、２子以降無償、そして、全部無償ということですごく恵まれている。ただ、保育料が０円

になったからといって、少子化の解消にはつながっていないと思う。少子化対策としては、もっと他の手立てが必要なのではないかと感じている。意見である。

（２）議案第１号　　金ケ崎町立幼稚園再編計画の推進案の見直しについて

事務局から、幼稚園再編計画の推進について、見直し案を説明した。

質疑等

高橋職務代理者）子どもが増えるような施策をしているが、実際子どもが増えていないということはわかるので、幼稚園をいずれ閉園しなければならないということは仕方がないと感じる。今回１年延長するということで、その間に子どもが増えれば計画をさらに見直し、いい方向に進める可能性があるのか。個人的には来年度出生数が増えたとか、転入者が増えた場合は残すこともいいのではないかと思っている。

事務局）出生数は推計結果。令和６年度の出生が６０人台であったが、９０人まで回復するということは難しいと思っている。今回の説明会では、小規模幼稚園が必要であることと、特別な支援を要する子への配慮という意見があった。実は、六原幼稚園に「特別な支援を要する子」という基準の子はいない。ただ、特性があり配慮を要する子は、六原幼稚園だけでなく、南方幼稚園や他の保育園にもいる。小学校で特別支援学級のお子さんが増えている状況もあり、療育的な役割が今後必要になってくると感じている。それを六原幼稚園が担うのではなく、どのような形で進めるかはまだはっきりしていないが、幼児教育について検討していく必要ある。

高橋職務代理者）南方幼稚園では、特別支援のお子さんにも十分対応できていると思う。その点では、六原幼稚園を特別支援のための幼稚園として残すべきという意見については賛成ではない。

鈴木委員）前回は、スケジュール通り閉園してよいと意見を述べた。今回は、閉園が急すぎるという住民感情に配慮した結果１年延期にしたのだと思う。その他の地域に必要な幼稚園であるなどの意見には、住民に寄り添いながら丁寧に説明していただきたい。

小野委員）１年延ばしてもらえたということを喜んでいる保護者の声が聞こえてきた。１０年度で閉じるということを保護者は理解したと思う。転園する場合の、園児服購入補助は以前からあったのか。

事務局）永岡幼稚園、三ケ尻幼稚園の時は補助をしている。

小野委員）金ケ崎幼稚園や西幼稚園の時は、南方幼稚園の園児服が高くて保護者の負担が大きいと思ったが、今は補助があるということで安心した。

教育長）これまで何回か保護者や地域への説明を行ってきた。いただいた意見を検討した結果、在園児への配慮を考えて１年延長を決めた。来週の地域説明会でもいろいろ意見があるかとは思うが、基本の考えを崩さず丁寧に説明し理解いただきたいと考えている。

その他意見なく、採決の結果全員一致で可決された。

６　その他

なし

閉会